

令和5年度業務実績報告書における自己評価一覧

【小項目評価基準】 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。／評価4・・・年度計画を上回って実施している。／評価3・・・年度計画を順調に実施している。
評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。／評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

参考資料 4

大項目	小項目		ウェイト	自己評価		自己評価の判断理由 (※評価3以外の項目は色付きにて記載)	
				5年度	(参考) 4年度※		
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	3	4	○ 目標値については、1人1日当たり入院単価及びPICU利用率は目標値を下回ったが、それ以外の指標で目標値を上回るとともに、コロナの5類移行後においても、引き続き小児のコロナ感染患者に対する小児救急医療を提供するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。	
			市民病院	2	3	3	○ コロナ5類移行後も、病床確保を継続し重症化リスクのある患者受入れを積極的に行い、福岡市のコロナ対応における中核的な役割を果たした。目標値については、1日当たり入院患者数と新規入院患者数は目標を下回ったが、救急搬送件数は目標値と前年度実績を大きく上回った、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
		(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	3	3(→4)	○ 登録医療機関数以外のすべての指標で目標値を上回るとともに、オープンカンファレンス等を通じた地域の医療従事者等への教育研修を実施するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3(→4)	○ 目標値については全て目標を上回った。また開放型登録医や連携施設等と対面でのカンファレンス等を再開するなど、コロナ5類移行後の新たな取組も開始した。年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
		(3) 災害・感染症等への適切な対応	こども病院	2	4	4(→5)	○ 大規模災害発生を想定した初動訓練の実施やPPE(個人用防護具)等の必要在庫の確保、外部研修への派遣による危機対応能力を持った職員の育成など、事業を継続するために必要な取組を確実に行った。また、コロナの5類移行後においても、引き続き小児のコロナ感染患者に対する小児救急医療を提供するとともに、「免疫負債」によりコロナ対策緩和後に生じたコロナ以外の感染症の大きな流行で急増した小児救急患者に適切な医療を提供するなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。
			市民病院	2	4	4(→5)	○ コロナ対応については5類移行後も病床確保を継続し、重症化リスクのある患者の受入れを継続し、今後の新興感染症対策として感染管理認定看護師の増員も計画的に実施している。能登半島地震については災害派遣を行い、目標値もすべて達成しており、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。
	2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	3	3	○ オンライン博物館の開催やスマートフォンアプリを利用した患者呼出システムの導入準備など、ICT(情報通信技術)の活用による患者サービス及び利便性の向上に取り組むとともに、退院時アンケートの意見等を踏まえ院内環境を整備するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3	○ 入院オリエンテーション動画等のICTを活用した患者サービスの向上や、療養環境の改善に取り組むなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
		(2) 情報発信	こども病院	1	4	3	○ 広報紙やホームページ等を活用した情報発信を行うとともに、地域住民を対象とした講座を継続して開催した。また、子育て中の保護者を対象とした専門医による新聞コラムの掲載を開始するとともに、こどもアレルギーセンターにおいて、保護者向け講演会を開催するなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。
			市民病院	1	3	3	○ ホームページのアクセス数については目標値を下回ったが、新たに福岡市内の小学生・中学生に向けた情報発信に取り組み、地域の医療従事者向けの情報発信も継続して取り組み、年度計画を順調に実施していることから、自己評価は「3」とする。
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修	こども病院	2	3	3	○ 意欲ある人材確保に向けた取組の実施、新人看護職員等への計画的な研修の実施、他施設に従事する新人看護職員を対象とした研修の開催、認定看護師等資格取得支援制度を活用した有資格者の拡大など、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。	
		市民病院	2	4	3(→4)	○ 目標値を達成するとともに、ワーク・ライフ・バランス推進の取組等を継続して行った。また、意欲ある人材を確保するため、感染対策を講じた上で実習生の受入れを継続したほか、職員向け研修会等の開催や資格取得の推進に努め、感染管理認定看護師に1名合格する等、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。	
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	2	4	3	○ 全ての指標で目標を上回るとともに、感染防止対策の強化やTeam STEPPS®研修会の開催等による医療安全対策の強化など、安全・安心な医療の提供に積極的に取り組んだ。また、病院機能評価で明らかとなった課題に対する業務改善に継続的に取り組むとともに、薬剤師の薬物療法への関与による医療安全の確保を図るなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。	
		市民病院	2	3	3	○ コロナの影響により、引き続き患者数が減少したことで、薬剤管理指導件数、栄養食事指導・相談件数、がん患者指導件数については目標を下回った。しかし、薬剤管理指導件数については目標を下回ったものの令和4年度からは大幅に件数が増加した。新たに特定行為の手順書を作成し、コロナ患者に対する褥瘡管理の論文が学会誌に掲載されるなど、医療の質向上に寄与する活動を継続して実施し一定の成果を得たことから、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							
	1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実		1	3	3	○ Webを活用しながら理事会や経営会議等を適宜開催し、迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うなど、年度計画を確実に実施しているため、自己評価は「3」とする。	
	2 事務部門の機能強化		1	3	3	○ 経理担当学会議を開催するとともに、令和5年度は主任級及び係長級研修について、対象者を昇任者に加え、昇任後5年目以上の職員までに拡充し、人材育成の強化に取り組んだため、自己評価は「3」とする。	
	3 働きがいのある職場環境づくり		1	3	3	○ 育児に係る支援制度拡充等の継続した検討や、両病院において各職種のタスクシフト等に取り組むとともに、ハラスメント研修の開催方法を見直すなど職場環境の改善に努めているため、自己評価は「3」とする。	
	4 法令遵守と公平性・透明性の確保		1	3	3	○ コンプライアンスや情報セキュリティ及び個人情報保護についての研修を実施するとともに、個人情報の保護や情報公開についても適切に対応するなど、年度計画を確実に実施しているため、自己評価は「3」とする。	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置							
1 持続可能な経営基盤の確立	(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化	こども病院	2	3	3	○ コロナの5類移行後も、厳しい状況に対して、執行部会議等において効率的な病院経営について検討を重ね、対策に取り組んだ結果、経常収支比率及び医業収支比率が目標値を上回るなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。	
		市民病院	2	3	3	○ コロナ5類移行後も中等症以上の患者の対応を継続したが、下半期はコロナの空床確保に関する補助金の適用がなく収入面において厳しい状況となった。上半期は病床利用率が低下したものの、下半期には向上し、経常収支比率は目標を上回ったことから、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。	
		(2) 投資財源の確保		1	3	3	○ 収支改善は図られており、利益の積立て等による投資財源の確保や、施設整備等の効果的な投資が図られていることから、自己評価は「3」とする。
	2 収支改善	(1) 収益確保	こども病院	2	3	3	○ 1人1日当たり入院単価及び外来単価については目標値を下回ったが、それ以外の指標で目標値を上回るとともに、レセプト精度調査や保険診療検討ワーキングチームを中心とした診療報酬請求プロセスの改善活動に取り組む、一次査定率を低く抑えるなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3	○ コロナ対応の継続により空床確保の継続や後方医療機関のクラスター発生による転院調整の遅れにより、1日当たり入院患者数、新規入院患者数、1日当たり外来患者数、平均在院日数については目標値を下回ったものの、急性期病床の入院料を維持するとともに、高度な手術や新規入院患者を確保するための取組を行い、収益確保に努めた。救急搬送件数については、課題解決に取り組んだ結果、目標を大きく上回った。年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
		(2) 費用削減	こども病院	2	3	3	○ 高額医薬品の使用量の増により、薬品費対医業収益比率が目標値を下回ったが、ICT(情報通信技術)を活用した事務業務の効率化の推進やSPD(医療材料物流管理)受託業者と連携した診療材料費の削減、省エネルギー推進委員会の設置による光熱水費の縮減に向けた取組など、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3	○ 医業収益の確保とともに、価格交渉等において可能な限りの費用削減に努めたが、給与費対医業収益比率については令和4年度から改善したものの医業収益の減少により、目標値を下回った。ジェネリック医薬品の供給不足や高額な医薬品の増加、高度専門医療提供のために高度な手術を実施したことによる高額材料の増加や物価高騰等、複数の要因が重なり、材料費対医業収益比率についても目標を下回った。しかし、ITを活用した業務の効率化やSPD事業者を活用した診療材料費の価格交渉を継続して行うなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置							
	1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	こども病院	2	4	4	○ 科学研究費助成事業(文部科学省)等の臨床研究や治験業務に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献するとともに、川崎病の症例数や複雑な先天性心疾患に係る難易度の高い手術症例数が成人を含むDPC病院の中で8年連続全国1位となるなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。	
	2 福岡市民病院における経営改善の推進	市民病院	2	3	3	○ 経年劣化による、重油配管からの重油流出についても適切に対応を行い、コロナ対応では福岡市の中核的な役割を果たしながら、複数の制約下においても経営改善に取り組むつつ高度専門医療の提供に積極的に行い、一定程度の医業収益を確保したことから、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。	

※法人の自己評価と異なる評価を市が行った場合、右の要領で記載。(例:3(→4) 法人自己評価「3」→市の評価「4」)